

Medical News TODAY 掲載

**第5回 国際鳥インフルエンザサミット（ラスベガス）にて
強毒性新型インフルエンザ感染対策の画期的技術を発表**

大幸薬品株式会社(本社:大阪府吹田市、代表者:柴田 仁 代表取締役社長)は、平成19年9月27日~28日 米国 ラスベガスにて開催される第5回 国際鳥インフルエンザサミットにて「インフルエンザ感染対策」を発表します。今回の発表に際し、“Medical News TODAY”にて報道されました事をお知らせ致します。

大幸薬品では、私たちの身の周りに存在するウイルスや細菌・真菌を除去し、さらに消臭効果が期待できる二酸化塩素関連商品を提供しております。今回、その主成分である二酸化塩素に関し、新たな研究成果として、「二酸化塩素ガスによるウイルス作用メカニズムと飛沫感染、接触感染防止対策」を発表します。

< 報道内容要約 >

鳥インフルエンザが変異し、人に感染する強毒性新型インフルエンザが地球規模で流行する危機が迫っており、恐怖は世界的に広がっている。しかし、ニューフィールド社が主催する国際鳥インフルエンザサミットで朗報が期待されている。大幸薬品の緒方博士が二酸化塩素(ガス)を使った実験でインフルエンザウイルスの不活性化に対する有効性を証明するデータとその使用方法について発表される。大幸薬品は、二酸化塩素を用いたウイルス除去による非感染居住空間の創造を目指している。緒方博士によると、同社の革新的な新技術でもって、人々が退避する必要のない安全な方法で除菌、除ウイルスが可能となる。第5回国際鳥インフルエンザサミットは、大幸薬品の研究発表に加え、新型インフルエンザに対する予防、準備、対応方法、混乱からの復旧方法などについて話し合われるもので、官界・民間の両部門から専門家が『新型インフルエンザ大流行(パンデミック)の脅威』に焦点を絞り講演するというもので、サミット参加者は、著名な科学者、政府の衛生・厚生関係者、医学専門家、危機発動責任者が中心となっている。今回は鳥インフルエンザに感染した致命的重症患者の治療にあたったインドネシア鳥インフルエンザ調査チームも参加予定。

大幸薬品は今回、国際鳥インフルエンザサミットにおいて、世界で数社の中のプラチナブースで出展し、感染管理事業を紹介致します。

今後も安全性・臨床研究など積極的な研究開発を行い、業務用商材・一般用商材を通じ、世界のお客様に健康で快適な生活を提供することを目指していきます。

掲載記事

詳しくは以下をご覧ください。

Medical News TODAY

<http://www.medicalnewstoday.com/articles/80766.php>

学会内容

第5回 国際鳥インフルエンザサミット

<http://www.new-fields.com/birdflu5/index.php>

お客様からのお問い合わせは専用窓口を設けております。

大幸薬品株式会社 お客様相談係

電話 (06)6382-1095 受付時間: 午前9時~午後5時(土、日、祝日は除く)

URL <http://www.seirogan.co.jp> 〒564-0032 大阪府吹田市内本町3丁目34番14号